

# 日本救急医療財団の活動報告

橋本 昌男 事務局長

2022年2月中旬から4月上旬までの財団の活動について報告します。

## 総務部門に関する報告

平田 真教 総務部

### 1. 心肺蘇生法委員会について

2月15日（火）15時30分からWEB会議方式により、今年度第3回目の「心肺蘇生法委員会」を開催しました。

今回の主な議題は、「救急蘇生法の指針2020（医療従事者用）」の出版についてであり、事前に配布したゲラ版に対する各委員からの修正意見等について議論し、修正内容の確認作業を行いました。「救急蘇生法の指針2020（医療従事者用）」については、早急に最終的な修正意見の確認を求めるとともに、意見調整を行ったうえで、3月末までに出版することを確認しました。

また、自動体外式除細動器（AED）の内部データの利用や検証について議論しました。

### 2. 常任役員会開催について

3月4日（金）14時00分より財団会議室において、常任役員会が開催されました。議題は、①令和3年度収支予算書（変更案）及び基本財産の取崩、②令和4年度事業計画及び収支予算書（案）、③第21回評議員会の開催、④評議員の辞任等についてで、その他報告事項について審議されました。

常任役員会終了後「第45回救急救命士国家試験新型コロナウイルス感染症対策会議」を開催しました。「令和3年度厚生労働省所管医療関係職種国家試験における新型コロナウイルス感染症対策について」に基づき、今年度変更になった取扱いを含めて対策を確認し、第45回救急救命士国家試験を全体として安全・安心を確保したうえで実施することとしました。

### 3. 第22回理事会開催について

3月11日（金）14時10分より東京ガーデンパレスにおいて第22回理事会が開催されました。議長には、定款第37条により横田裕行理事長があたり、議事録署名人には、定款第44条第2項により出席の池田ひろみ、植月道雄監事があたることを確認しました。

議題及び報告事項は下記のとおりです。

<議題>

- (1) 令和3年度収支予算書(変更案)及び基本財産の取崩について
- (2) 令和4年度事業計画及び収支予算書(案)について

(3) 第21回評議員会の開催について

<報告事項>

(1) 理事長、副理事長、常務理事の選定について

(2) 評議員の辞任等について

(3) 第23回理事会の招集について

(4) 第45回救急救命士国家試験の応募状況について

(5) 心肺蘇生法委員会について

(6) 令和3年度新型コロナウイルス感染症に係る検疫所宿泊療養施設における保健医療業務支援について

(7) 任期満了に伴う各種委員会委員の選任について

(8) その他

・救急救命士が新型コロナウイルスワクチン接種を行うために必要な研修の対応等業務について

#### 4. 第20回評議員会開催について

3月11日(金)16時00分より東京ガーデンパレスにおいて第20回評議員会が開催されました。

議長には、定款第20条により相川直樹評議員が互選され、議事録署名人には定款第27条第2項により松田周三評議員と山本保博評議員が選出されました。

議題及び報告事項は下記のとおりです。

<議題>

(1) 令和3年度収支予算書(変更案)及び基本財産の取崩について

(2) 評議員の辞任等について

<報告事項>

(1) 令和4年度事業計画及び収支予算書(案)について

(2) 第21回評議員会の開催について

(3) 理事長、副理事長、常務理事の選定について

(4) 第45回救急救命士国家試験の応募状況について

(5) 心肺蘇生法委員会について

(6) 令和3年度新型コロナウイルス感染症に係る検疫所宿泊療養施設における保健医療業務支援について

(7) 任期満了に伴う各種委員会委員の選任について

(8) その他

・救急救命士が新型コロナウイルスワクチン接種を行うために必要な研修の対応等業務について

## 5. 新型コロナウイルス感染症に係る検疫所宿泊療養施設における保健医療業務支援に関する委員会について

3月29日（火）13時30分からWEB会議方式により今年度第4回目の「新型コロナウイルス感染症に係る検疫所宿泊療養施設における保健医療業務支援に関する委員会」を開催しました。

今回の委員会では、年度末まで継続することとなった検疫所宿泊療養施設の保健医療業務支援の現状と、支援の終了にあたり引継ぎ先や安全な引継ぎ体制等について確認を行いました。

## 試験部門に関する報告

阿部 光雅 試験免許部

### 1. 第45回救急救命士国家試験実施状況

3月13日（日）に全国5試験地（北海道、東京都、愛知県、大阪府、福岡県）において実施しました。

受験申込者は3,331名で、そのうち3,263人が受験し、2,979人が合格しました。（合格率は91.3%）

合格者の発表は、3月31日（木）午後2時に厚生労働省及び財団のホームページに受験地、受験番号を掲示して発表するとともに、国家試験問題の正答肢を掲載しました。

また、受験者全員に成績通知書（合格者には合格証書）を郵送しました。

救急救命士名簿登録は、合格者の申請に基づき行われ、救急救命士免許証を交付することとなっています。

## 研修研究部門に関する報告

風間 和則 研修研究部

### 1. 令和3年度救急医療業務実地修練等研修事業について

#### ○ 医師救急医療業務実地修練

医師救急医療業務実地修練につきましては、令和4年2月16日（水）から2月18日（金）まで合同研修（3日間）、及び令和4年2月24日（木）から2月25日（金）まで施設研修（2日間）をオンライン（Zoom）にて開催しました。

受講者は、二次・三次救急医療施設等に勤務し、救急の第一線で活動している者（日本救急医学会救急科専門医（認定医を含む）またはそれと同等の知識、技術を有する者）であって、施設長の推薦する者を対象に全国から37名（修了者36名）の受講者が参加されました。

合同研修プログラムでは、①救急部門の管理運営に関すること（WS）、②災害・テロ対策

に関すること（WS）、③救急医療の法的問題（講義、WS）、④救急医療における病院前医療体制（講義）、⑤小児救急医療（講義）、⑥救急医療と感染症情報（講義）、⑦地域において救急医療施設が果たす役割（MCを含む）に関すること（講義、WS）を実施し、研修プログラムを通して救急医療の最新情報等を学ぶとともに、WSではZ o o mのブレイクアウト機能を使用し、4班又は6班に分かれたディスカッションでは受講者相互の活発な情報交換により、連帯感が深められ大変有意義な研修となりました。

また、施設研修については、例年、受講者が施設研修病院（（高度）救命救急センター）にて2日間の研修を受講していたところですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は受講者と施設研修病院間をオンライン（Z o o m）で結んで開催しました。

実施にあたっては、受講者を4班に分け各班4病院（AM、PM各1病院×2日間）を受講するプログラムにより、施設研修病院（17病院）のご協力のもと各病院の特色を活かしたレクチャー及びディスカッションを実施して頂きました。

なお、事前に「Z o o m操作マニュアル（受講者用）」等を受講者に配布するなど研修準備を進めるとともに、オンラインへの接続等について受講者からの問合せに速やかに対応できる体制を整えたことにより、円滑に研修を終了しました。

## 2. 研修教育事業委員会について

令和4年3月8日（火）に東京ガーデンパレスにおいて、今年度第2回目の研修教育事業委員会（委員長：溝端康光先生）を開催しました。

令和3年度に実施した救急医療業務実地修練事業に係る各研修・講習会の実施報告等に基づき各研修事業の評価等（オンラインによる研修実施のあり方等を含む）について審議されました。

開催にあたりましては、新型コロナウイルス感染症の影響により半数以上の委員がWEBでの参加となりましたが、会議運営については活発なご議論を頂き終了することが出来ました。